

1. 研究課題名：天草・島原沿岸の地域連携型保全に向けた干潟ベントス群集とその生態系機能に関する研究

2. 研究代表者氏名及び所属：玉置 昭夫（長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科）



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

#### 4. 研究の趣旨・概要

近年、海洋生物の多様性保全と生態系サービス（海の恵み）の持続的利用への関心が高まってきた。特に沿岸域は人為活動の影響を受け易いため、効果的な保全策が必要となる。

本研究は有明海湾口部から西方の橘湾を経て天草灘までの海域を対象とし、そこに散在する砂質干潟のベントス（底生生物）群集の種多様性と群集が有する浄化機能の実態を解明することを目指す。特に近年の海水温上昇傾向および地域特有の海岸地形と沿岸の海洋構造の影響に着目する。研究成果の講演会も開催し、社会への浸透を図る。

これにより、対象海域に関係する地方公共団体、住民、漁業者等が連携して保全施策を考えていくための科学的基盤が提供されることが期待される。

#### 5. 研究項目及び実施体制

研究項目：研究課題名に同じ。

実施体制：長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科に所属する 5 名の教員  
（研究参画者 4 名の氏名：武田重信、鈴木利一、和田 実、梅澤 有）

## 6. 研究のイメージ

